

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

都城市実行委員会 第1回総会



日時：令和6年8月29日（木）午後1時30分

場所：都城ロイヤルホテル ロイヤルバンケット

つむぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会

2027

第26回全国障害者スポーツ大会

余

白

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会 第1回総会

日時：令和6年8月29日（木） 午後1時30分～

場所：都城ロイヤルホテル ロイヤルバンケット

次 第

1 開 会

2 議 事

（1） 報告事項

報告第1号 都城市実行委員会委員の就任について P 3

報告第2号 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ
の開催等の決定について P 9

（2） 審議事項

議案第1号 都城市実行委員会 令和6年度事業計画（案） P11

議案第2号 都城市実行委員会 令和6年度収支予算（案） P13

3 閉 会

○ 参考資料

【資料1】 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要 P15

【資料2】 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市開催基本方針 P18

【資料3】 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会推進体制 P19

【資料4】 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市開催推進総合計画 P20

【資料5】 都城市開催予定競技・会場 P26

【資料6】 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ
都城市実行委員会総会から常任委員会への委任事項 P28

余

白

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

都城市実行委員会委員の就任について

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ都城市実行委員会の設立に伴い、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ都城市実行委員会会則第 4 条第 2 項に基づき、次のとおり新たに委員の委嘱を行ったことを報告します。

(順不同・敬称略)

委員（4 名）

区分	機関・団体名	役職	氏名
県競技団体	宮崎県バウンドテニス協会	会長	植村 加代子
	宮崎県ゲートボール協会	会長	水久保 豊
	宮崎県パークゴルフ協会連合会	会長	大重 陽一
	宮崎県ボッチャ協会	会長	函師 博規

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会委員・役員等

(順不同・敬称略)

(新任者については、備考欄に「＊」を記載)

【会 長】 1名

区 分	機関・団体名	役職	氏名	備考
市関係	都城市	市長	池田 宜永	

【副会長】 5名

区 分	機関・団体名	役職	氏名	備考
市議会関係	都城市議会	議長	神脇 清照	＊
スポーツ関係	一般財団法人都城市スポーツ協会	会長	岩崎 透	
市関係	都城市	副市長	吉永 利広	
	都城市	副市長	西田 員敏	＊
	都城市教育委員会	教育長	児玉 晴男	

【常任委員】 35名

区 分	機関・団体名	役職	氏名	備考
市議会関係	都城市議会	副議長	音堅 良一	＊
県競技団体	一般財団法人宮崎陸上競技協会	会長	林田 洋二	
	宮崎県ソフトテニス連盟	会長	寺園 圀順	
	宮崎県バレーボール協会	会長	寺村 明之	
	一般社団法人宮崎県バスケットボール協会	会長	神戸 博明	＊
スポーツ関係	都城市スポーツ推進委員協議会	会長	中西 昇治	
	都城地区小学校体育連盟	会長	長谷川 雅一	
	都城地区中学校体育連盟	会長	木宮 崇子	
	宮崎県高等学校体育連盟都北支部	支部長	山下 勉	
	一般社団法人都城市スポーツコミッション	専務理事兼事務局長	田中 芳也	
学校関係	都城市小学校長会	会長	大澤津 雄作	＊
	都城市中学校長会	会長	島寄 善真理	＊
	宮崎県立高等学校長協会 都城地区	理事	村山 育志	＊
産業・経済関係	都城商工会議所	会頭	安田 耕一	
通信・運輸関係	宮崎交通株式会社都城営業所	所長	頼本 健一郎	
宿泊・観光関係	一般社団法人都城観光協会	会長	東郷 研哉	＊
医療関係	一般社団法人都城市北諸県郡医師会	会長	田口 利文	
社会団体関係	社会福祉法人都城市社会福祉協議会	会長	島津 久友	
国・県関係	都城警察署	署長	中山 貴樹	＊
市関係	都城市総合政策部	部長	西川 隆二	＊
	都城市総務部	部長	畑中 和行	＊
	都城市地域振興部	部長	福重 通宏	
	都城市環境森林部	部長	別府 雅彦	＊
	都城市福祉部	部長	満安 真由美	
	都城市こども部	部長	福永 朱美	
	都城市健康部	部長	岩崎 日花里	＊
	都城市農政部	部長	田畑 聖一	
	都城市商工部	部長	横山 哲英	＊
	都城市観光スポーツPR部	部長	原口 文代	＊
	都城市ふるさと納税局	局長	新村 和彦	＊
	都城市土木部	部長	馬場 芳男	
	都城市上下水道局	局長	石川 誠	
	都城市教育委員会	部長	黒木 有美子	
	都城市議会事務局	局長	本村 英宏	＊
	都城市消防局	局長	増満 幸治	

【監 事】 2名

区 分	機関・団体名	役職	氏名	備考
市関係	都城市	代表監査委員	新井 克美	
	都城市	会計管理者	竹下 昌治	

【委 員】 76名

区 分	機関・団体名	役職	氏名	備考
国・県関係	国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所都城国道維持出張所	出張所長	藤井 理隆	*
	国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所都城出張所	出張所長	長友 明人	
	宮崎県都城土木事務所	所長	山浦 弘志	*
	宮崎県都城保健所	所長	坂元 昭裕	
	宮崎県北諸県農林振興局	局長	大田 直	*
	宮崎県教育庁南部教育事務所	所長	三輪 正憲	
県競技団体	宮崎県バウンドテニス協会	会長	植村 加代子	*
	宮崎県ゲートボール協会	会長	水久保 豊	*
	宮崎県パークゴルフ協会連合会	会長	大重 陽一	*
	宮崎県ボッチャ協会	会長	図師 博規	*
市競技団体	都城市陸上競技協会	会長	神脇 清照	
	都城市ソフトテニス連盟	会長	石崎 陽一	
	都城地区バレーボール協会	会長	倉吉 教文	
	都城バスケットボール協会	会長	二見 康之	
スポーツ関係	都城市スポーツ少年団本部	本部長	星原 透	
学校関係	都城地区保幼小連絡協議会	会長	坂元 恵美子	*
産業・経済関係	山之口町商工会	会長	山元 浩之	
	高城町商工会	会長	安藤 武	*
	山田町商工会	会長	長友 俊美	
	高崎町商工会	会長	中島 美智也	*
	荘内商工会	会長	河野 一治	
	中郷商工会	会長	戸 則昭	*
	都城市通り会連絡協議会	会長	音山 尚登	*
	一般社団法人都城青年会議所	理事長	川田 匠	*
	宮崎県農業協同組合 都城地区本部	地区本部長	矢吉 照美	
	都城森林組合	代表理事組合長	志々目 道夫	*
	都城建設関連団体連合会	会長	長友 俊美	
	九州旅客鉄道株式会社宮崎支社	南宮崎駅長	石井 孝一	*
通信・運輸関係	一般社団法人宮崎県タクシー協会都城支部	支部長	奥津 貞一郎	
	一般社団法人宮崎県トラック協会都城支部	支部長	草水 裕之	
	日本郵便株式会社都城郵便局	局長	若松 博文	*
	西日本電信電話株式会社宮崎支店	支店長	横奥 宏明	*
	九州電力株式会社 都城営業センター	センター長	吉村 啓悟	*
	西日本高速道路株式会社九州支社宮崎高速道路事務所	所長	麻生 貴文	*
宿泊・観光関係	都城市ホテル協会	会長	徳留 弘二	
	都城市郡ホテル旅館組合	組合長	常盤 幸嗣	*
	都城市高城観光協会	会長	安藤 武	
	都城市食生活改善推進員連絡協議会	会長	松尾 伊津子	
	公益社団法人宮崎県栄養士会	理事	山下 幸仁	*
	宮崎県飲食業生活衛生同業組合都城支部	支部長	中村 慎一郎	
	都城地区食品衛生協会	会長	徳留 弘二	*
医療関係	一般社団法人都城歯科医師会	会長	濱田 剛	
	一般社団法人都城市北諸県郡薬剤師会	会長	落合 晋介	
	公益社団法人宮崎県看護協会	都城・北諸県地区理事	荒武 昌代	*
警備・消防関係	都城地区交通安全協会	会長	佐々木 鴻昭	
	都城地区地域安全協会	事務局長	甚野 直美	

区 分	機関・団体名	役職	氏名	備考
社会団体関係	姫城地区まちづくり協議会	会長	柿木原 康雄	
	小松原地区まちづくり協議会	会長	平嶋 弘平	
	妻ヶ丘地区まちづくり協議会	会長	堀川 渉	
	祝吉地区まちづくり協議会	会長	山下 孝一	
	五十市地区まちづくり協議会	会長	図師 光春	
	横市地区まちづくり協議会	会長	柏木 健一郎	
	住みよいまち沖水協議会	会長	三島 美蔓	
	志和池地区まちづくり協議会	会長	常盤 靖雄	*
	庄内地区まちづくり協議会	会長	前田 和憲	*
	西岳地区まちづくり協議会	会長	古江 健一	
	中郷地区まちづくり協議会	会長	永田 勇作	
	山之口地区まちづくり協議会	会長	有川 俊一郎	
	高城地区まちづくり協議会	会長	石田 操	
	山田地区まちづくり協議会	会長	及川 達郎	
	高崎地区まちづくり協議会	会長	鶴田 輝夫	
	都城市自治公民館連絡協議会	会長	柿木原 康雄	
	都城市PTA連絡協議会	会長	吉永 健一	*
	宮崎県高等学校PTA連合会都北支部	代表	宇崎 紘一朗	*
	ボーイスカウト宮崎連盟都城第1団	団委員長	野口 京一	
	ガールスカウト宮崎県連盟第13団	団委員長	安藤 愛美	*
	ガールスカウト宮崎県連盟第22団	団委員長	川内 奈津子	*
	都城市高齢者クラブ連合会	会長	岩切 正道	
	都城市身体障害者福祉協会	事務局長	倉山 幸一	
	山之口町身体障がい者更生会	会長	稲田 伸征	
	都城市高城地区身体障害者福祉会	会長	永田 照明	
	高崎町身体障害者福祉会	会長	永田 浩一	
	都城市民生委員児童委員協議会	会長	坂元 京子	
	都城市ボランティアセンター	所長	川崎 博志	
	一般社団法人都城芸術文化協会	会長	中西 徹博	
	一般社団法人都城国際交流協会	事務局長	藤元 幸一郎	

【顧 問】 9名

区 分	機関・団体名	役職	氏名	備考
国会議員	衆議院	議員	古川 禎久	
	参議院	議員	松下 新平	
	参議院	議員	長峯 誠	
県議会議員	宮崎県議会	議員	山下 博三	
	宮崎県議会	議員	二見 康之	
	宮崎県議会	議員	荒神 稔	
	宮崎県議会	議員	今村 光雄	
	宮崎県議会	議員	永山 敏郎	
	宮崎県議会	議員	山内 一徳	

【参 与】 19名

区 分	機関・団体名	役職	氏名	備考
国・県関係	陸上自衛隊都城駐屯地第43普通科連隊	第43普通科連隊長兼ねて都城駐屯地司令	石岡 直樹	*
市議会関係	都城市議会	総務委員会委員長	佐藤 紀子	*
	都城市議会	文教厚生委員会委員長	別府 英樹	*
	都城市議会	建設委員会委員長	中田 悟	*
	都城市議会	産業経済委員会委員長	筒井 紀夫	*
報道関係	毎日新聞社宮崎支局	記者	下藺 和仁	
	読売新聞都城通信部	記者	木村 歩	
	南日本新聞社	都城総局長	深野 修司	
	宮崎日日新聞都城支社	支社長	三輪 誠	
	MRT宮崎放送	営業局都城支社長	坂元 伸一	*
	NHK宮崎放送局都城支局	記者	福島 雅博	
	UMKテレビ宮崎	報道部都城支局 主任	又川 岳人	*
	BTV株式会社	代表取締役	江夏 拓三	
教育関係	南九州大学	学長	中瀬 昌之	
	独立行政法人国立高等専門学校機構都城工業高等専門学校	校長	田村 隆弘	
市教委関係	都城市教育委員会	教育長職務代理者	赤松 國吉	
	都城市教育委員会	教育委員	中原 正暢	
	都城市教育委員会	教育委員	岡村 夫佐	
	都城市教育委員会	教育委員	宮田 若奈	

会長 1 名 副会長 5 名 常任委員35名 監事 2 名 委員76名 顧問 9 名 参与19名 計147名

余

白

第81回国民スポーツ大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の 開催等の決定について

1 第81回国民スポーツ大会（日本のひなた宮崎 国スポ）

令和6年7月17日開催の（公財）日本スポーツ協会第3回理事会において、第81回国民スポーツ大会の宮崎県開催及び会期が正式に決定されたことから、次のとおり報告します。

- （1） 令和9年の第81回国民スポーツ大会は、「宮崎県」で開催
- （2） 会期は、令和9年9月26日（日）～10月6日（水）までの11日間

※ 各競技会の開催日程については、（公財）日本スポーツ協会国民スポーツ大会委員会で審議・決定される予定（本年12月頃）

2 第26回全国障害者スポーツ大会（日本のひなた宮崎 障スポ）

第81回国民スポーツ大会の宮崎県開催が正式に決定されたことに伴い、第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催が決定されたことから、次のとおり報告します。

- （1） 令和9年の第26回全国障害者スポーツ大会は、「宮崎県」で開催
- （2） 会期は、本年9月下旬頃に決定される予定

余

白

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

都城市実行委員会 令和 6 年度事業計画（案）

1 会議の開催

- (1) 総会（8 月 29 日）
- (2) 専門委員会（11 月頃 開催予定）
 - ア 総務企画専門委員会
 - イ 競技式典専門委員会
 - ウ 宿泊衛生専門委員会
 - エ 輸送交通専門委員会
- (3) 常任委員会（2 月頃 開催予定）

2 準備業務の推進

- (1) 総務企画
 - ア 都城市開催推進総合計画の進行管理
 - イ 企業協賛の推進
 - ウ リハーサル大会経費検討
 - エ 市民運動の検討
 - オ 実行委員会ホームページ開設
 - カ ボランティア募集等の検討
 - キ 観光・接伴基本計画策定
- (2) 競技式典
 - ア 競技会場レイアウト設計
 - イ 競技用具整備の推進
 - ウ 競技会係員・補助員編成計画策定
 - エ リハーサル大会開催基本計画策定
 - オ 施設整備の推進・点検
 - カ 式典基本計画策定

(3) 宿泊衛生

- ア 医療救護要項策定
- イ 防疫対策要項策定
- ウ 食品衛生対策要項策定
- エ 環境衛生対策要項策定

(4) 輸送交通

- ア 輸送交通業務実施要項策定
- イ 消防防災・警備基本計画策定
- ウ 消防防災・警備業務実施要項策定

3 先催地の視察、調査及び研究

- (1) SAGA2024 国スポ・全障スポ
・佐賀市、唐津市等（10月上旬～10月下旬頃予定）
- (2) SAGA2024 国スポ・全障スポ 事業報告会への出席
・佐賀市等（12月～1月頃予定）
- (3) わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 2025 リハーサル大会
・長浜市、彦根市、近江八幡市、大津市等（随時）
- (4) 先催地の情報収集、資料収集

4 気運醸成のPR活動

- (1) 国スポ・障スポ開催決定イベントの開催
 - ・都城市単独イベント（9月28日）
 - ・県合同イベント（11月4日）

- (2) カウントダウンボードの制作
都城工業高等学校に制作を委託
令和7年1月にお披露目予定



- (3) 各種イベントでの広報活動、PRグッズの作成



日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

都城市実行委員会 令和 6 年度収支予算（案）

○収入の部

（単位：円）

科 目	予算額	備 考
1 負担金	10,951,000	都城市負担金
2 繰越金	2,280,059	前年度繰越金
3 諸収入	1,000	預金利息
合 計	13,232,059	

○支出の部

（単位：円）

科 目	予算額	備 考
1 総務費	2,324,959	
(1) 会議費	492,059	会場費等
(2) 事務局費	1,832,900	消耗品費、通信運搬費等
2 開催推進費	10,907,100	
(1) 調査研究費	6,062,800	競技会場レイアウト設計委託、滋賀国 スポリハーサル大会調査費等
(2) 広報啓発費	4,844,300	広報啓発物品製作費、専用ホームペー ジ作成委託費等
合 計	13,232,059	

参 考 資 料

【資料 1】	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要	P15
【資料 2】	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市開催基本方針	P18
【資料 3】	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会推進体制	P19
【資料 4】	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市開催推進総合計画	P20
【資料 5】	都城市開催予定競技・会場及び県内会場地一覧	P26
【資料 6】	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会総会から常任委員会への委任事項	P28

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要

1 概 要

国民スポーツ大会(国民体育大会)は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとすることを目的として行われます。大会は、都道府県持ち回りで開催され、都道府県対抗で競技を実施する国内最大のスポーツの祭典です。

全国障害者スポーツ大会は、障がい者が競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的とした障がい者スポーツの祭典です。

2 主 催

国民スポーツ大会の主催者は、公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、開催地都道府県となります。また、各競技会については、日本スポーツ協会加盟競技団体、会場地市町村を含めたものとなります。

全国障害者スポーツ大会の主催者は、公益財団法人日本パラスポーツ協会、文部科学省、開催地都道府県及び市町村に、その他の関係団体を加えたものとなります。

3 大会の開催時期等

【国民スポーツ大会】

○開催時期：9月26日(日)～10月6日(水)

○開催期間：11日間

【全国障害者スポーツ大会】

○開催時期：原則として国民スポーツ大会の直後

○開催期間：3日間

4 大会名称、マスコットキャラクター、愛称、スローガン

○国民体育大会は、令和6年に開催される第78回大会(佐賀県)以降、国民スポーツ大会に名称変更され、略称は国スポ(こくすぽ)となります。

○マスコットキャラクター 『みやざき犬』



○愛称

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

○スローガン

つむ 紡ぐ感動 神話となれ

5 実施予定競技

□ 国民スポーツ大会

(1) 正式競技(37 競技)

① 毎年実施競技(36 競技)

陸上競技	水泳	サッカー
テニス	ボート	ホッケー
バレーボール	体操	バスケットボール
レスリング	セーリング	ウエイトリフティング
ハンドボール	自転車	ソフトテニス
卓球	軟式野球	相撲
馬術	フェンシング	柔道
ソフトボール	バドミントン	弓道
ライフル射撃	剣道	ラグビーフットボール
スポーツクライミング	カヌー	アーチェリー
空手道	銃剣道	なぎなた
ボウリング	ゴルフ	トライアスロン

② 隔年実施競技(2 競技のうち 1 競技を実施)

ボクシング、クレール射撃のうち宮崎大会ではボクシングを実施

(2) 特別競技(1 競技)

高等学校野球(硬式及び軟式)

(3) 公開競技(7 競技)

綱引	ゲートボール	武術太極拳
パワーリフティング	グラウンド・ゴルフ	バウンドテニス
エアロビク		

(4) デモンストレーションスポーツ

地方スポーツの推進、国民の健康増進、体力向上等をはじめ、国民のスポーツ推進を図るために、正式競技及び公開競技以外の競技を対象に生涯スポーツ社会の実現に寄与するという観点から実施することができる競技

□ 全国障害者スポーツ大会

(1) 正式競技(14 競技)

陸上競技 (身体・知的)	水泳 (身体・知的)	アーチェリー (知的)
卓球 (身体・知的・精神)	フライングディスク (身体・知的)	ボウリング (知的)
ボッチャ (身体)	バスケットボール (知的)	車いすバスケットボール (身体)
ソフトボール (知的)	グランドソフトボール (知的)	フットソフトボール (知的)
バレーボール (身体・知的・精神)	サッカー (知的)	

(2) オープン競技

競技規則に定められていない競技・種目で、広く障がい者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められるものについては、主催者間で協議の上、実施することができる競技

6 文化プログラム

スポーツ文化や開催県の郷土文化等をテーマとし開催県における国民スポーツ大会の開催の気運醸成や国民スポーツ大会の目的や意義の全国的な普及啓発等を目的として実施するプログラム

7 参加人数

(県全体：延べ人数)

	国民スポーツ大会 (R 5 鹿児島特別国体実績)	全国障害者スポーツ大会 (R 5 鹿児島特別大会実績)
選手・監督数	85,462 人	22,745 人
大会関係者	119,511 人	39,668 人
観覧者数	443,203 人	22,096 人
合 計	648,176 人	84,509 人

◎ 過去大会実績を参考にすると、都城市には延べ約 190,000 人が来場する見込み。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市開催基本方針

1 基本方針

スポーツは、「する」、「みる」、「ささえる」という様々な形で、人々に「楽しさ」や「喜び」を感じさせ、また、人と人との交流及び地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものです。

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」（以下、「両大会」という。）の開催に当たっては、本市の地の利及び地域資源を最大限に活用し、市民と行政が協働し、本市特有の魅力を全国に発信する大会を目指します。

また、両大会は、本市が目指す「市民の笑顔が広がる 南九州のリーディングシティ」の実現に向けて、市民・関係団体・行政などが相互に連携を深め、都城の総力を結集する大会として開催します。

2 実施目標

(1) オール都城でつくり・はぐくみ・自ら参加する大会

市民が、大会に「参加（する）」、「応援（みる）」、「絆（ささえる）」など、性別、年齢、障がいの有無等に関係なく、様々な関わりを持つことで、開催機運を盛り上げる市民総参加型の大会を目指します。

(2) おもてなしの心で都城の魅力を全国に発信する大会

「島津発祥の地」としての歴史や「日本一の肉と焼酎」など、本市が誇る地域資源を全国に発信するとともに、来訪者を心のこもったおもてなしでお迎えし、本市特有の魅力に触れていただき、再度、本市に訪れたいと感じていただけるような大会を目指します。

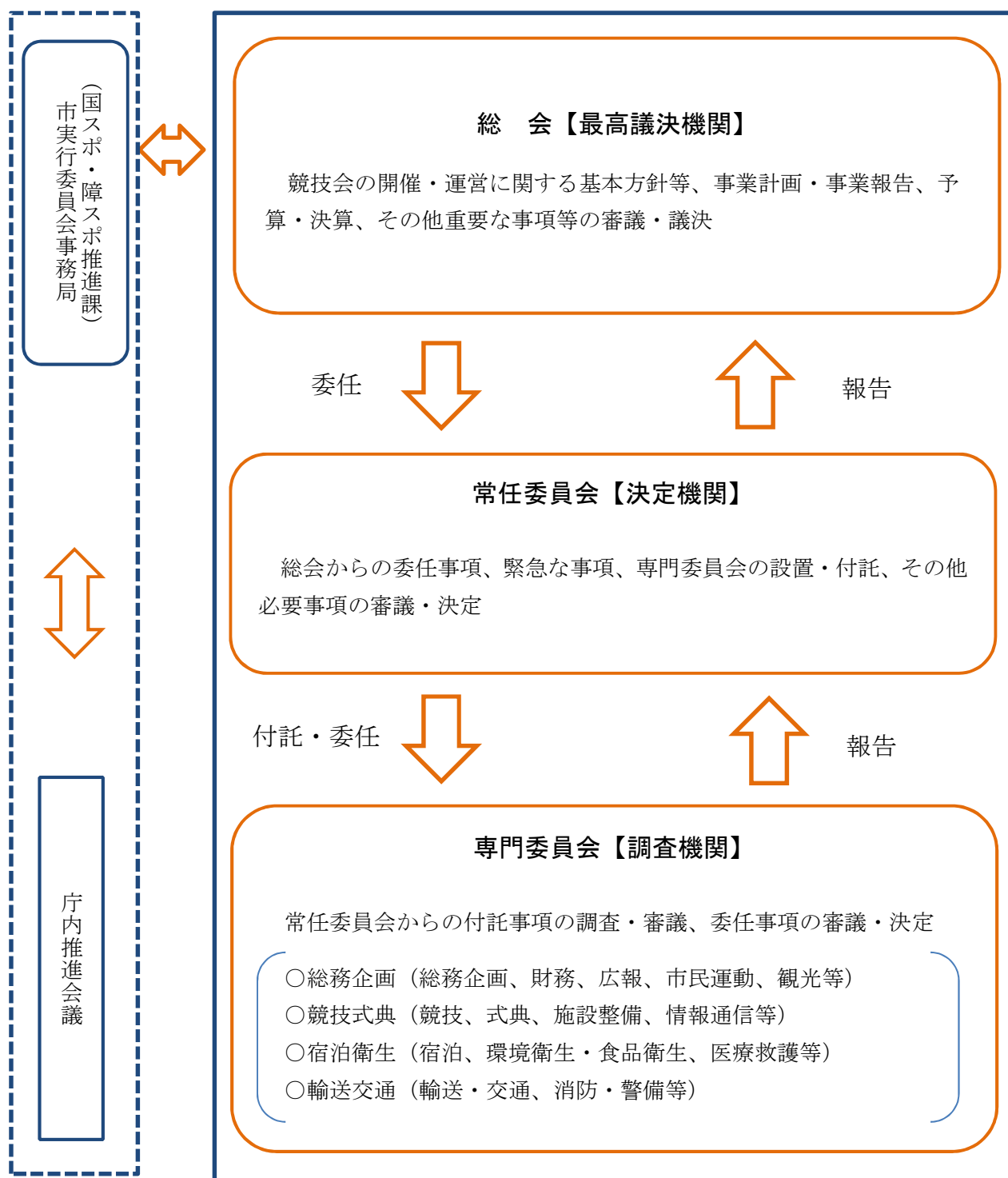
(3) 都城が誇る拠点施設を十分に活かした創意工夫のある大会

開催準備、大会運営に当たっては、拠点施設や競技用具等の有効活用に努め、効率化を図りつつも、市民及び関係団体と創意工夫を凝らし、本市の特色が十分に活かされた大会を目指します。

(4) 地域スポーツの活性化と子どもたちが都城を誇りに思える大会

大会開催を契機とし、地域における健康づくりや生きがいづくりなど、本市におけるスポーツの推進を一層図り、また、子どもたちが、大会を通じてスポーツに親しみを持つとともに、都城を誇りに思えるような大会を目指します。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ都城市実行委員会推進体制



〔国民スポーツ大会開催基準要項 第25項〕

開催県及び会場地市町村は、大会運営のためにそれぞれ実行委員会を設置する。ただし、公開競技に係る実行委員会については、当該中央競技団体が開催関係機関・団体と協議のうえ、必要に応じて設置する。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ
都城市開催推進総合計画

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」（以下「両大会」という。）の成功に向け、都城の総力を結集し、オール都城で来訪者を心のこもったおもてなしでお迎えし、本市が目指す「市民の笑顔が広がる 南九州のリーディングシティ」の実現に向けて、都城市開催基本方針に基づき開催推進総合計画を定めるものとする。

1 基本方針

(1) 総務企画

県、競技団体、関係機関及び関係団体と緊密に連携し、両大会を一過性のものとせず、その開催を通じて市民が都城に愛着と誇りを持てる大会とするため、総合的な計画の立案と施策の推進を図る。

(2) 財務

県、競技団体、関係機関及び関係団体との相互協力のもと、創意工夫を凝らした魅力あふれる大会を目指し、適切で効率的な財務の運営を図る。

(3) 広報

両大会に対する市民の関心や参加意欲を高めるため、デジタル技術を積極的に活用し、効果的な広報活動を展開するとともに、参加した選手をはじめ、両大会に関わった人々を通じて都城の豊かな自然や観光、文化など多彩な魅力を全国に向けて発信する。

(4) 市民運動

市民一人ひとりが大会開催の意義を理解し、それぞれの立場で積極的に参加する機運の醸成を図るとともに、市民総参加のもと一丸となって大会を盛り上げていくことにより、両大会終了後も地域コミュニティの醸成や地域の活性化の推進につなげる。

(5) 観光・接伴

選手・監督をはじめ、本市を訪れるすべての方々を温かくお迎えするとともに、自然、歴史、文化、食など本市の多彩な魅力に触れていただくことで、「また訪れたい」と感じていただけるよう心のこもったおもてなしを提供する。

(6) 競技

県、競技団体、関係機関及び関係団体と緊密に連携し、また、デジタル技術を積極的に活用しつつ、競技会の円滑な運営を図るとともに、必要な用具等については、効率的に整備する。

(7) 式典

県、競技団体、関係機関及び関係団体と十分に協議をし、創意工夫を凝らした温かみのある式典とする。

(8) 施設

国民体育大会開催基準要項に規定されている施設基準を尊重し、既存施設の有効活用を図るとともに、両大会開催後の市民利用にも配慮した整備に努める。

(9) 宿泊

選手・監督をはじめ、大会関係者等の宿泊については、宿泊施設等と緊密に連携し、安全で快適な宿舎の確保を図り、受け入れ体制に万全を期する。

(10) 医事・衛生

選手・監督をはじめ、両大会に携わるすべての方々が清潔かつ快適な環境のもとで十分な活躍と観覧ができるよう、県、競技団体、関係機関及び関係団体の協力を得ながら、食品衛生及び環境衛生に配慮するとともに、防疫体制及び医療救護体制を確立する。

(11) 輸送・交通

本市の交通事情を勘案し、交通事業者その他関係機関との連携により、安全・安心かつ効率的な輸送手段の確保に努める。併せて、デジタル技術を積極的に活用し、公共交通機関の利用を促進するなど交通混雑の緩和と環境に配慮した輸送・交通体制の確立を図る。

(12) 消防防災・警備

競技会場その他大会関係施設における災害の防止、治安の確保及び非常時における緊急対応に万全を期するため、消防、警察その他関係機関等と緊密に連携し、消防防災・警備体制の確立を図る。

年 度 西 暦 年 逆 開 催 県		令和4年度 2022年 開催5年前 栃木県	令和5年度 2023年 開催4年前 鹿児島県	令和6年度 2024年 開催3年前 佐賀県
主 要 行 事		① 大会開催内定 ② 準備委員会設立		③ (仮称)国スポ推進局設置 ④ 文部科学省・日本スポーツ協会総合視察 ⑤ 大会開催・会期決定 ⑥ 実行委員会へ改組
準 備 組 織		① 準備委員会設立総会 準備委員会総会開催 ② 常任委員会開催 ③ 総務企画専門委員会設置準備 競技式典専門委員会設置準備 宿泊衛生専門委員会設置準備 輸送交通専門委員会設置準備 ④ 庁内推進会議開催	⑤ 準備委員会総会開催 ⑥ 総務企画専門委員会設置・開催 競技式典専門委員会設置・開催 宿泊衛生専門委員会設置・開催 輸送交通専門委員会設置・開催	⑦ 実行委員会総会開催 ⑧ 実施本部設置・開催
総務企画専門委員会	1 2 総務企画 財務	① 県準備委員会との連絡調整 ② 開催準備総合計画策定・進行管理	③ 企業協賛取扱要項策定 ④ 大会経費調査検討	⑤ 県実行委員会との連絡調整 ⑥ 企業協賛の推進 ⑦ リハ大会経費検討
	3 広報	① 国スポ・障スポ準備課ホームページ開設	② 広報基本計画策定 ③ 広報啓発活動の推進 ④ 準備委員会ホームページ開設	
	4 市民運動		① 市民運動基本計画策定 ② ボランティア募集要項策定 ③ ボランティア募集等の検討	④ 市民運動の推進 ⑤ ボランティア募集・研修会開催
	5 観光・接伴			① 観光・接伴基本計画策定

都城市開催推進総合計画【年度別業務】

令和7年度 2025年 開催2年前 滋賀県	令和8年度 2026年 開催1年前 青森県	令和9年度 2027年 開催年 宮崎県	第81回国民スポーツ大会開催・第26回全国障害者スポーツ大会開催	実行委員会解散
	⑦ リハーサル大会開催	⑧ 第81回国民スポーツ大会開催 ⑨ 第26回全国障害者スポーツ大会開催		
⑨ 実行委員会総会開催	⑪ 実行委員会総会開催	⑬ 実行委員会総会開催	大会決算書	大会報告書
⑩ リハ大会実施本部運営マニュアル作成	⑫ 大会実施本部運営マニュアル作成			
⑧ 運営ガイドライン策定				
⑨ リハ大会予算編成	⑬ リハ大会予算執行・決算 ⑭ 大会経費予算編成	⑮ 大会予算執行・決算		
⑩ 識別用品整備要項策定	⑮ リハ大会識別用品整備	⑯ 大会識別用品整備		
⑪ 遺失物・拾得物取扱要項策定	⑯ リハ大会での遺失物・拾得物取扱実施	⑰ 大会での遺失物・拾得物取扱実施		
⑫ 保険加入要項策定	⑰ リハ大会保険加入	⑱ 大会保険加入		
			大会報告書	大会報告書
⑤ 大会報告書編成方針検討	⑥ 大会報告書編成方針決定	⑦ 大会報告書策定		
⑥ リハ大会ボランティア業務計画策定	⑦ 大会ボランティア業務計画策定 ⑧ リハ大会ボランティア配置	⑨ 大会ボランティア配置		
② 歓迎装飾・接伴実施要項策定	⑤ 歓迎装飾・ガイドブック作成等の検討	⑧ 歓迎装飾・ガイドブック作成等の実施		
③ 案内所・休憩所等設置運営要項策定	⑥ リハ大会案内所、リハ大会休憩所等設置	⑨ 大会案内所、大会休憩所等設置		
④ 売店設置運営要項策定	⑦ リハ大会売店配置	⑩ 大会売店配置		

年度 西暦 逆開催県	令和4年度 2022年 開催5年前 栃木県	令和5年度 2023年 開催4年前 鹿児島県	令和6年度 2024年 開催3年前 佐賀県
競技式典専門委員会	6 競技	① 競技運営基本計画策定 ② 競技用具整備計画検討・策定 ③ 競技役員等編成案の検討・策定 ④ リハ大会実施検討 ⑤ デモンストレーションスポーツ開催競技選定	⑥ 競技用具整備の推進 ⑦ 競技会係員・補助員編成計画策定 ⑧ リハ大会開催基本計画策定
	7 式典		① 式典基本計画策定
	8 施設	① 施設整備基本計画策定	② 施設整備の推進・点検
宿泊・衛生専門委員会	9 宿泊	① 宿泊基本計画策定 ② 第一次仮配宿	
	10. 医事・衛生	① 医事・衛生基本計画策定	② 医療救護要項策定 ③ 防疫対策要項策定 ④ 食品衛生対策要項策定 ⑤ 環境衛生対策要項策定
輸送交通専門委員会	11. 輸送交通	① 輸送交通基本計画策定 ② 駐車場等調査・確保	③ 輸送交通業務実施要項策定 ① 消防防災・警備基本計画策定 ② 消防防災・警備業務実施要項策定
	12. 消防・警備		

都城市開催推進総合計画【年度別業務】

令和7年度 2025年 開催2年前 滋賀県	令和8年度 2026年 開催1年前 青森県	令和9年度 2027年 開催年 宮崎県	第81回国民スポーツ大会開催・第26回全国障害者スポーツ大会開催
⑨ 競技運営実施計画策定	⑬ 競技別実施要項策定	⑲ 競技別プログラム作成・配布	
	⑭ 競技役員等編成決定	⑳ 競技役員等の編成・委嘱	
	⑮ 競技会係員・補助員編成決定・養成	㉑ 競技会係員・補助員の編成・委嘱	
⑩ 競技別リハ大会実施要項策定	⑯ 競技別リハ大会プログラム作成・配布		
⑪ デモスポ実施要項検討	⑰ デモスポ実施要項策定	㉒ デモスポ開催	
⑫ 情報通信基本計画策定	⑱ 情報通信業務実施要領策定	㉓ 臨時通信施設架設設置	
	③ 式典実施要項策定	⑤ 各競技会 開始式・表彰式の実施	
② 炬火イベント検討	④ 炬火イベント実施計画・要項策定	⑥ 炬火イベント実施	
③ リハ大会宿泊実施要項策定	⑥ 大会宿泊実施要項策定(県)	⑨ 宿泊本部設置	
④ 第二次仮配宿	⑦ 第三次仮配宿	⑩ 大会配宿実施	
⑤ 大会弁当調達要項策定	⑧ リハ大会弁当調達実施	⑪ 大会弁当調達実施	
⑥ 医療救護実施要領策定	⑪ 救護所設置計画策定	⑯ 救護本部・救護所設置	
⑦ リハ大会救護所設置計画策定	⑫ リハ大会救護所設置		
⑧ 防疫対策実施要領策定	⑬ 防疫対策の推進		
⑨ 食品衛生対策実施要領策定	⑭ 食品衛生対策の推進		
⑩ 環境衛生対策実施要領策定	⑮ 環境衛生対策の推進	⑧ 輸送本部設置	
	⑤ 輸送計画策定		
④ リハ大会輸送計画策定	⑥ リハ大会計画輸送実施		
	⑦ 車両誘導計画策定		
	④ 消防防災・警備計画策定	⑥ 消防警備本部設置	
③ リハ大会消防警備計画策定	⑤ リハ大会消防警備本部設置		

都城市開催予定競技等及び開催予定施設

□ 国民スポーツ大会

[令和6年7月2日時点]

競技(種目)・内容		種 別	開催予定施設
総合開・閉会式		—	宮崎県山之口陸上競技場
正式競技	陸上競技	全種別	宮崎県山之口陸上競技場
	バレーボール 6人制	少年男子	早水公園体育文化センター
	バスケットボール	成年男子 成年女子	早水公園体育文化センター 高崎総合公園総合体育館
	ソフトテニス	成年男子 成年女子	都城運動公園庭球場
公開競技	バウンドテニス	全種別	早水公園体育文化センター
	ゲートボール	全種別	都城運動公園陸上競技場
デモスポ ※1	パークゴルフ	—	かかしの里パークゴルフ場 高崎パークゴルフ場
	U12 バスケットボール	—	高城運動公園総合体育館

※1 デモスポ・・・デモンストレーションスポーツの略

□ 全国障害者スポーツ大会

[令和6年7月2日時点]

競技(種目)・内容		種 別	開催予定施設
開・閉会式		—	宮崎県山之口陸上競技場
正式競技	陸上競技	身体・知的	宮崎県山之口陸上競技場
	バレーボール	身 体	早水公園体育文化センター
	ボッチャ	身 体	早水公園体育文化センター

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ
会場地市町村選定状況一覧【市町村別】

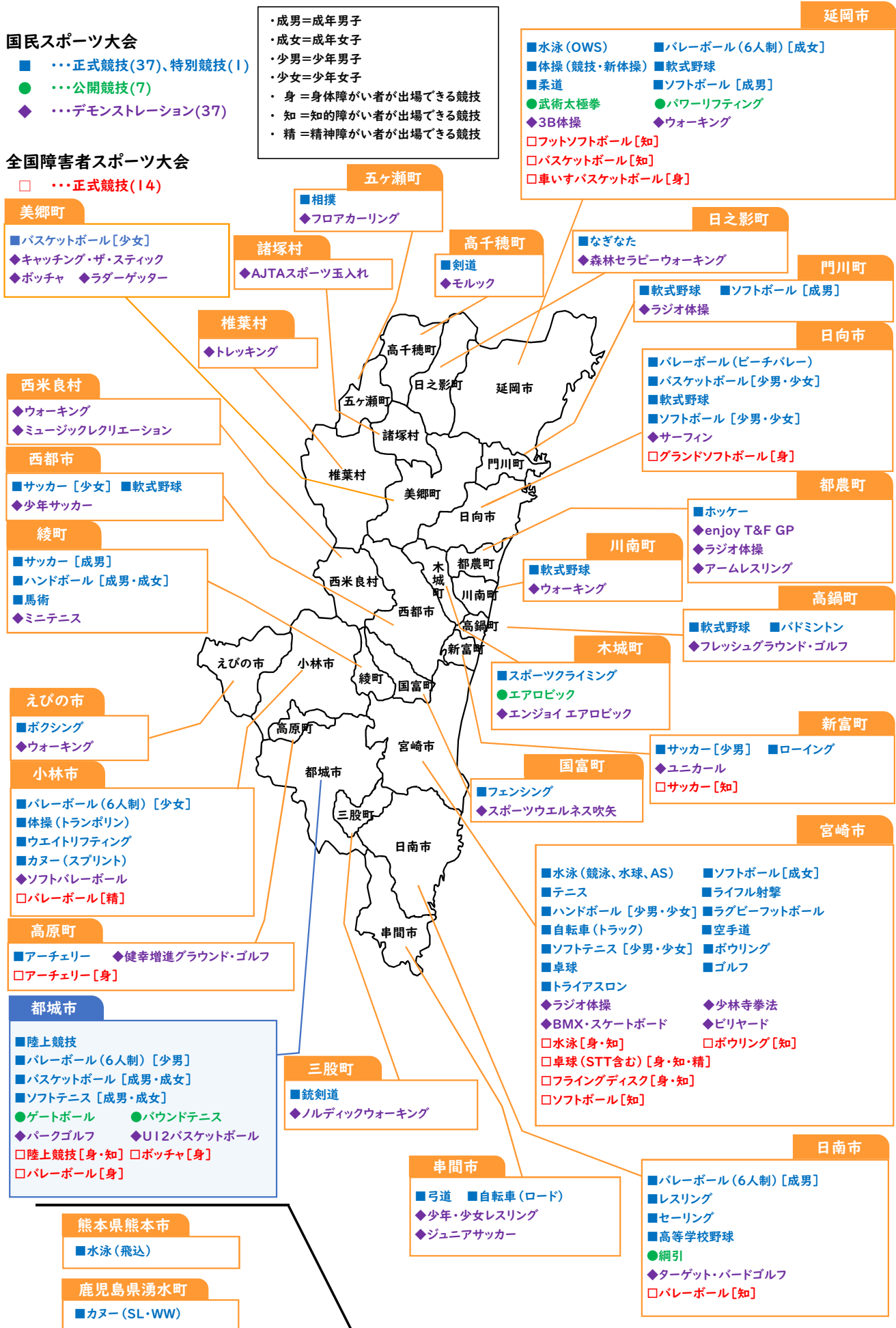
国民スポーツ大会

- …正式競技(37)、特別競技(1)
- …公開競技(7)
- ◆ …デモンストレーション(37)

全国障害者スポーツ大会

- …正式競技(14)

- ・成男=成年男子
- ・成女=成年女子
- ・少男=少年男子
- ・少女=少年女子
- ・身=身体障がい者が出場できる競技
- ・知=知的障がい者が出場できる競技
- ・精=精神障がい者が出場できる競技



日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

都城市実行委員会総会から常任委員会への委任事項

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ都城市実行委員会会則第 11 条第 4 項第 5 号に基づく総会から常任委員会への委任事項は、次のとおりとする。

- 1 開催準備の総合企画及び運営に関すること
- 2 財務、広報、市民運動及び観光・接伴に関すること
- 3 競技、式典及び施設に関すること
- 4 宿泊及び医事・衛生に関すること
- 5 輸送・交通、消防防災・警備に関すること
- 6 その他会務に必要な事項に関すること

余

白

新域

